

株式会社ルーラル大潟 認知症サポーター養成の取り組み

65歳以上の高齢者のうち認知症を発症している人は推計15%で、2012年時点で約462万人に上ることが厚生労働省研究班の調査で明らかになっています。

認知症の前段階である軽度認知障害（MCI）の高齢者も約400万人いると推計されています。

65歳以上の4人に1人が認知症とその“予備軍”となる計算です。

【認知症サポーターとは】

認知症サポーター養成講座を受けたひと。

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族の「応援者」です。



株式会社ルーラル大潟もこの取り組みに賛同し、2016年7月「認知症サポーター養成講座」を受講しました。

ホテルサンルーラル大潟43名、ポルダール潟の湯12名 道の駅おおがた（産直センター潟の店）13名の認知症サポーターが誕生いたしました。



オレンジリングは認知症サポーターの目印です。

認知症サポーターとは？

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、自分のできる範囲で認知症の人やその家族を温かく見守る応援者のことです。

認知症サポーターは「認知症の人を応援します」という「目印」のオレンジリングをしています。

